

製品名: CYP2A6V2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09648**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP2A6V2
別名	
遺伝子 ID	1548.0
SwissProt ID	Q13120
免疫原	ヒト CYP2A6V2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

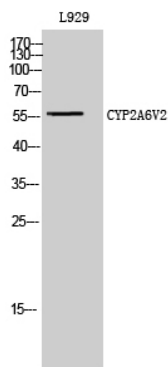
この遺伝子 CYP2A6 は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタン

パク質は小胞体に局在し、その発現はフェノバルビタールによって誘導されます。この酵素はクマリンを水酸化することが知られており、ニコチン、アフラトキシン B1、ニトロソアミン、そして一部の医薬品も代謝します。特定の対立遺伝子変異を持つ人は、クマリンやニコチンを効率的に代謝できない、いわゆる「低代謝型」の表現型を持つと言われています。この遺伝子は、19番染色体 q 上の CYP2A、CYP2B、および CYP2F サブファミリーに属するシトクロム P450 遺伝子の大規模なクラスターの一部です。この遺伝子は以前は CYP2A3 と呼ばれていましたが、CYP2A6 に改名されました。酸化還元、

研究分野

カフェイン代謝;レチノール代謝;薬物代謝;薬物代謝;

画像データ



1: 2000 希釈の CYP2A6V2 ポリクローナル抗体を用いた L929 細胞のウェスタンブロット解析